

# 『小児診療看護師(NP)が行う末梢挿入型中心静脈カテーテル挿入と管理について』

## に対するご協力のお願い

研究の目的と意義	<p>私は2023年から診療看護師(NP)として当院の小児肝臓消化器科で働いています。大学院時代に小児のPICCに関する研究しており、現在は自分でPICCの挿入から管理までを実施しています。</p> <p>小児領域におけるPICCの報告は小児外科や集中治療領域では少数がありますが、小児消化器領域における報告はなく、また小児診療看護師(NP)による報告もありません。</p> <p>本研究の目的は、小児診療看護師(NP)が行うPICC挿入と管理の安全性について明らかにする事です。</p>
研究の方法	主に小児IBD(炎症性腸疾患)患児へのPICCの有用性や危険因子などを明らかにします。また、これまで小児領域のPICC挿入は医師だけが行っていたが、NPの介入前後の比較検討をして、今後小児領域で活動するNPへの役割を拡大したいと考えています。
対象者	2022年4月1日～2025年12月31日の期間に当院の総合小児科、小児肝臓消化器科に入院した患者さんとの内、小児NPがPICCを挿入した0歳から15歳の方になります。
利用する試料/情報	<p>① 属性背景に関する項目 患者さん情報(性別、年齢、疾患)</p> <p>② 挿入に関する項目 挿入目的、挿入場所、挿入部位、挿入時および管理期間中の合併症(気胸、神経損傷、出血、先端位置異常)</p> <p>③ 留置後に関する項目 留置期間、目的達成抜去、目的非達成抜去、発熱、静脈炎、血栓、破損、閉塞、迷入、自己抜去、点滴アラーム、包交</p>
利用する試料/情報の取得方法	診療で得られた診療録等
利用する試料/情報の管理責任者・住所	済生会横浜市東部病院 院長 〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1
研究組織	当院単独研究です。
試料/情報の院外提供	該当なし
結果公表	小児看護学会で報告予定である。
研究参加拒否・同意撤回	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合または一度研究参加に同意された後に同意を撤回される場合は、西暦2026年5月31日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 診療看護師室/診療看護師(NP)/大石 直之
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000(代表) 済生会横浜市東部病院 診療看護師室/診療看護師(NP)/大石 直之